

木の家住宅博TSUKUBAセンターホール

杉柱材を使ったBP材と格子状の魅せる
耐久壁で構成された「質感ある木の塊り」



■ 建築概要

所在地	茨城県つくば市春風台	施設用途	地区集会所
構造・階数	木造平屋建て	延床面積	74㎡
事業費	25,177,700円	木工事費	14,079,000円
工期	平成30年12月～平成31年3月	設計者	(株)サンヨーホーム
施工者	(株)茨城県南木造住宅センター	木材供給者	(株)茨城県南木造住宅センター

■ 施設の概要・特徴

令和元年の6月から11月にかけて行なわれる里山住宅博 I N TSUKUBAのセンターホールとして使用し、終了後は地域住民のコミュニティ振興や活動の拠点としての施設です。利用者が気軽に利用出来る様、間口が広く、かつ奥行きのある建物で周辺に威圧感を与えない様、低勾配の平屋建ての建物です。

■ 使用した木材や工夫した点

茨城県産の合法木材・産地証明がされた材を圧着加工した杉BP材を100%使用した建物で、県産A材利用促進において大きな効果をもたらすものと考えます。床・壁・天井の全てに杉BP材を使用、従来の構造材の柱、平角はそのままに新素材であるBP材との組み合わせで茨城県産材の美しさ、建築構造の可能性を広げ、構造体本来の性能向上と今までにない木材の新しい表情が加味された建物とした。

これまでは構造躯体としての使い方が主であったBP材で、意匠と構造の両方を兼ねた建物を造るとするのは、従来の木造工法では到底無理な事で、床・壁・天井の全ての要素をどの様な方法で接続・固定するか？それ以外の要素である電気、給排水等はどの様に納めるのか？一つ一つを解決しながら独自の施工ツールの開発から始まり、基礎工事を経て、上棟後は45日の工期で全ての工事を完了することが出来ました。

樹種	県産材使用量	使用部
スギ	32.88㎡	梁・柱・床・壁・天井等
ヒノキ	6.12㎡	土台・大引・木建等
計	39.00㎡	